

# — 広報 — なぎじん

毎月1日発行



村章

10

1991

No.191

## ●今帰仁村の人口

平成3年8月31日現在  
男4,779人(-5) 女4,856人(-7)  
世帯数3,080(-8)  
村の人口9,635(-12)



## 手づくり敬老会で思いやりの心育てる ボランティア協力校の天底小学校

北部で数少ないボランティア活動協力校に指定された天底小学校の手づくり敬老会が、九月十四日特別養護老人ホーム乙羽園で催され、琉舞やバンド演奏で長寿を祝った。

舞踊クラブの十人がそろいの衣装で「かぎやで風」を踊った後、バンド部三十六人が校歌や「ひやみかち節」「歌えパンパン」を演奏し、お年寄りを喜ばせた。

バンド部長の長田麻衣子さんが「おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでもおからだを大事にして長生きしてください」と語りかけ、お年寄りらを励ました。入所者らは熱演の「かわい孫たち」の姿に満足げ。盛んに拍手を送っていた。フィナーレはお年寄りと児童、職員でカチャーンで盛り上がった。最初は少し緊張していた子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんと笑顔で握手を交わし話しかけていた。

天底小学校では、体験学習を通して「思いやりの心」を養い「福祉の村づくり」に取り組むことにしている。



思わず「かわいい」の声がでた似顔絵展

## 大好き！ おじいちゃん おばあちゃん 幼稚園児が似顔絵展

「おじいちゃん、おばあちゃん」の似顔絵展が、敬老の日を前にした九月十一日から二十日まで、琉球銀行今帰仁支店で開かれた。

この展示会は村内の各幼稚園の協力を得て今年初めて開いたもの。銀行のロビーには百二十五名の園児らのおじいちゃん、おばあちゃんのお似顔絵がパネルいっぱいに展示された。来店する大勢のお客さんも、わが子や孫の作品に笑顔を見せ、その成長ぶりに満足の様子。

中には「いつもぼくとあそんでくれるおじいちゃんだ、いすき」と書き添えた似顔絵もあり、若々しいおじいちゃん、おばあちゃんがとても上手に描かれていた。

どの絵や添え書きにも、愛するおじいちゃん、おばあちゃんに「ありがとう」と感謝する気持ちがほのぼのと表われていた。

島袋哲一支店長は「展示会は初めてですがとても好評です。私たちも敬老の日について考え、お年寄りにたいわり大切に作る気持ちを常に持つように心がけたい」と話していた。

# いつまでもお元気で 長寿祝い敬老会

75歳以上が898人

今帰仁村主催の「敬老会」は、九月十二日午後二時からコミュニティセンターで行なわれ、七十五歳以上の高齢者ら約五百五十人が出席した。

主催者を代表して上間博安村長は「よく学び、よく活動する高齢者として、これまで以上に地域や村勢発展にご活躍され、明るく心豊かな老後をお過ごしください」とあいさつ。平田嗣吉北部福祉事務所長、大城秀昭県議会議員らが祝辞を述べた。また「感謝のことば」として天底小学校の仲原裕子さんが「おじいちゃん、おばあちゃん、おばあちゃんこれからも健康に気をつけて長生きしてください」と話すと会場からさわやかな笑顔で、大きな拍手があつた。

この後、嘉数好子さん一



さわやかな笑顔でむかえた敬老会



熱演の北島角子さん(右) 嘉数好子さん(左)

行による「女だけの華あしび」と題し、芝居と、民謡、舞踊があつた。続いて、北島角子さんのひとり芝居「いのち」の熱演があり、楽しいひとときを過ごした。

なお、敬老の日に上間村長が百歳以上の九人の方を訪ね、記念品を贈った。村内の六十五歳以上人口は千八百四十七人(九月一日現在)で、全人口に占める割合は一九・一七パーセント。高齢者福祉は、家庭、地域、行政がこれまでに取り組まなければならぬ重要な課題といえよう。

郵便局の郵便貯金は、明治八年の創業以来身近な貯蓄として広く国民のみなさま方にご利用いただき、これまでに預けられた貯金の総額は全国で約一三六兆円、沖縄県内においても約五一六八億円を超えています。

この、みなさまからお預かりしたお金は、大蔵省の資金運用部に預けられ、財政投融资の主要な原資として各方面



## 十月は郵便貯金月間 あなたの貯蓄が プール・公園・道路建設に 生かされています

郵政局では、このような郵便貯金の意義を広く国民のみなさん方にご理解いただくため関係機関の協力を得て、毎年十月を「郵便貯金月間」としてPR活動を行なっています。(写真は入りやすいと好評の今帰仁郵便局)

へ融資され、住宅・学校病院・道路・上下水道の建設、中小企業・農林漁業の近代化などみなさまの、ごく身近なところで生かされています。

沖縄県内では、沖縄総合事務局を通じて県、市町村等に対して約三二七二億円の融資がなされています。私たちの今帰仁村でも一八億円の融資を受けております。この資金によって平成二年度は村民待望のプールや公園道路などが完成しました。今年度も公園や道路が建設されます。

郵便局では、このような郵便貯金の意義を広く国民のみなさん方にご理解いただくため関係機関の協力を得て、毎年十月を「郵便貯金月間」としてPR活動を行なっています。(写真は入りやすいと好評の今帰仁郵便局)

## 今帰仁村の長寿ベストテン

(平成三年九月一日現在)

- |                             |                             |                            |                             |                            |
|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
|                             |                             |                            |                             |                            |
| 上間 マツさん<br>(101歳)<br>今泊3075 | 當銘 カミさん<br>(101歳)<br>今泊2026 | 渡名喜マツさん<br>(101歳)<br>仲尾次16 | 上間 マツさん<br>(102歳)<br>今泊3115 | 嘉陽 マツさん<br>(105歳)<br>呉我山22 |
|                             |                             |                            |                             |                            |
| 諸喜田善次郎さん<br>(99歳)<br>崎山103  | 桃原カマダさん<br>(100歳)<br>謝名353  | 玉城 マツさん<br>(100歳)<br>湧川476 | 具志堅ウトさん<br>(100歳)<br>仲宗根467 | 新城 金吉さん<br>(100歳)<br>天底222 |

いま大切な民間社会福祉  
**赤い羽根募金**

愛ちゃんと希望くん

共同募金

10月1日～12月31日

# 今帰仁力強い走りで圧勝

## 第一回 国頭都えきでん大会

伊平屋島を縦断で往復、野甫島一周の三十六キロで八月十七日開催された、第一回国頭都えきでん競争は、八区のうち四区間で区間賞を獲得し拍手と歓声が沸きおこった。国頭郡の九町村の選手が参加するビッグイベントは、人口千五百人の島を熱気と興奮に包み込んだ。



伊平屋村初のビッグスポーツイベントで優勝の今帰仁チーム

沖縄県の代表的な選手をそろえた今帰仁は船酔いでダウンし、昼食抜きで出場した大城昭子選手が一区でトップとの差五十メートルで二区にたすきを渡した。二区の浜里正巳選手はトップの本部を抜き一位に躍り出た。三・四・五区と健闘したが本部に五十メートル差まで追いつけられなかった。六区でたすきを受けた宮里晃選手は前半、本部に並びかけられたが後半の力走で二位に四百メートルの大差で七区にたすきを渡した。八区の勝利を不動のものにした。アンカー石川清敏選手は余裕の走りで笑顔でゴールインした。

# わあ~大きな飛行機! 夢はジャンボのパイロット

## 子ども会がリーダー研修



頭と体を鍛えるとパイロット、スチュワーデスも夢ではない

今帰仁村子ども会(小那覇聡子会長)では、小学四年生以上のリーダー四十七名が八月十三日、南西航空とNHKを訪れ研修学習を実施した。午前七時すぎに今帰仁を出発した参加者は、最初に南西航空に向かった。係の島袋さんの案内で格納庫へ。そこでは飛行機の部品をはずしオーバーホールのまっ最中。複雑な機械がむき出しになっているのに、みんな驚いた様子。ボーイング七六七の機内では操縦席(コックピット)に座り様々な計器類を前にいろいろと質問。自動車と同じように

にハンドルやブレーキがあるのにはびっくりしていた。その後、奥武山運動公園で昼食をすませNHKへ。スタジオで、マイクを始め放送用機器の説明に、将来アナウンサーになりたいと話す人も。一日と短い視察研修ではあったが、今まで遠くから見ただけの飛行機や毎日家で見ていたテレビ放送について多くのことを学んだ。働く様子を肌で感じることができたことは、今後自分の進む道について、ひとつの示唆を与えたこととしよう。

# お知らせ 役場の勤務時間が変わりました。

今帰仁村役場は、9月から第2・第4土曜日が休みになりました。それともない役場の勤務時間が次の通り変更になりました。

◎月曜日～金曜日  
午前8時30分～午後5時15分  
ただし、正午から午後1時までは休憩時間となります。

◎閉庁にならない土曜日  
午前8時30分～午後12時30分

# 第20回 今帰仁村畜産共進会

第二十回今帰仁村畜産共進会が、九月三日午前十時より村家畜セリ市場で行われた。これは、優良家畜の普及と飼育技術の向上をめざし開かれたもので、第十五回北部地区畜産共進会への派遣審査も兼ねている。当日は上間博安村長や多数の畜産農家の見守る中、牛五十三頭、豚十五頭が出品され、慎重な審査が行われた。審査委員長の田場清善(善北部家畜保健衛生所長は、審査講評の中で「国・県の自

肉用牛未経産一類優等の大城喜英氏にそれぞれ贈られた。各部門の結果は次のとおり。

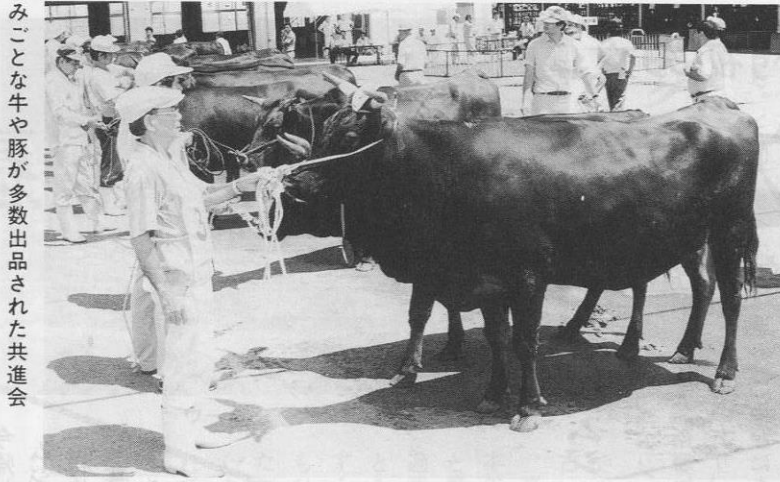
優 等 我那覇隆儀(謝名)  
一等一席 平山良昌(渡喜仁)  
一等二席 仲里又徳(平敷)  
肉用牛子牛(雌)

優 等 平山良昌(渡喜仁)  
一等一席 伊野波盛達(今泊)  
一等二席 謝花喜舜(越地)  
肉用牛未経産一類

優 等 大城喜英(平敷)  
一等一席 伊野波盛達(今泊)  
一等二席 島 栄徳(平敷)  
肉用牛未経産二類

優 等 我那覇隆久(謝名)  
一等一席 松田達男(仲宗根)  
一等二席 仲里又徳(平敷)  
肉用牛経産二類

優 等 当山清儀(渡喜仁)  
一等一席 大城健一(勢理客)  
肉用牛経産一類



由化に対応する施策にも限度があり、各農家が自助努力することが一番大事です」と述べた。

なお、特別賞の沖縄県農林水産部長賞は、肉用牛経産一類優等の我那覇隆久氏に、国頭郡農業共済組合長賞は、肉用牛経産二類経産の部優等の当山清儀氏に、今帰仁村長賞は種豚未経産一類部優等の喜屋武勇氏、村和牛改良組合長賞は、

肉用牛未経産一類優等の大城喜英(平敷)  
一等一席 伊野波盛達(今泊)  
一等二席 謝花喜舜(越地)  
肉用牛未経産一類

優 等 我那覇隆儀(謝名)  
一等一席 平山良昌(渡喜仁)  
一等二席 仲里又徳(平敷)  
肉用牛子牛(雌)

優 等 平山良昌(渡喜仁)  
一等一席 伊野波盛達(今泊)  
一等二席 島 栄徳(平敷)  
肉用牛未経産二類

優 等 我那覇隆久(謝名)  
一等一席 松田達男(仲宗根)  
一等二席 仲里又徳(平敷)  
肉用牛経産二類

優 等 当山清儀(渡喜仁)  
一等一席 大城健一(勢理客)  
肉用牛経産一類



優勝越地A、準優勝兼次、三位仲尾次B(左から)

大会の結果は、◎優勝 越地A ◎準優勝 兼次 ◎三位 仲宗根 ◎四位 仲尾次B でした。この上位四チームは、九月五日の北部大会に派遣され、越地Aがみごと三位に入賞。同チームは、十一月十九日に那覇市で開催される第十一回沖縄県大会に北部代表として出場する。

# 越地Aチーム優勝

## 村老人ゲームボール大会

第十三回今帰仁村老人ゲームボール大会が、八月二十九日午前八時三十分から村総合運動公園で行なわれた。大会には、二十二チームが参加。暑い日差しの中、北部大会出場への予選もかねて、熱戦が繰り広げられた。



イチグスク(池城)墓、イチグスク(池城)墓は、

順、五世(克社?)、六世(繩祖)、七世(從憲)、そしてその一族が葬られているとみられる。これらの人物は今帰仁の第二監守時代(一四六九―一六六五年)に今帰仁城内、あるいは城下で君臨した人達である。...

今帰仁村字平敷一四七八番地にあり、ジニンサガラの下流、みなと橋から約一五〇m下った右岸にある。周辺の墓と様相を異にし、崖を彫り込み、入口はアーチ型になっている。...



イチグスク(池城)墓

墓の名称の由来や墓に葬られている人物について、まだ不明である。墓碑に彫られた「さき山」(崎山)・「たまくすく」(玉城)などの村名の表記、それに石棺に記された日本年号など、近世初頭の時代が反映している。

ウーニシ(大北)墓
本年号の「寛文三年」と墨で記され、近世の過渡期が反映しているとみられる。碑文からすると「さき山大やくもひ、同人女房あむしたれ、同人子たまくすくのろくもひ」が葬られているとみられる。...

墓の名称の由来や墓に葬られている人物について、まだ不明である。墓碑に彫られた「さき山」(崎山)・「たまくすく」(玉城)などの村名の表記、それに石棺に記された日本年号など、近世初頭の時代が反映している。

今帰仁村初の文化財指定

ムムジャナ墓・ウーニシ墓・イチグスク墓

貴重な文化遺産を後世に

今帰仁村教育委員会では、去る七月一日付けでムムジャナ墓、ウーニシ墓、それにイチグスク墓を村指定の文化財にしました。指定理由は、三つの墓が歴史的な墓であると同時に墓の構造を知ることにより、いずれも貴重な文化遺産であることにより...

ムムジャナ(百按司)墓

ムムジャナ(百按司)墓は、今帰仁村字運天一〇九番地にあり、運天集落の後の崖の中腹にある。半円形の石垣で囲まれた一墓をはじめ、石垣で築かれた墓や木の板で閉じられた八基余りの墓からなる。...

番所を訪れたとき、人骨の散乱したムムジャナ墓の状況をみて修復をうながしている。その後修復され、現在にいたっている。内部にいまでも木棺や人骨が見られる。...



ムムジャナ(百按司)墓

ウーニシ(大北)墓

ウーニシ(大北)墓は、今帰仁村字運天一〇九番地、運天港の北東の今帰仁漁業協同組合の裏にあり、墓室は崖を横に掘り抜き、前面を漆喰で塗り固めてある。墓室を中心にして、左右対称に石垣がめぐらされている。...

大正十三年に再建された石碑が建っている。拝領願いをしたときの内容の文面が彫られている。ウーニシ墓は、アジ墓とも呼ばれ、北山監守(今帰仁按司)とその一族が葬られている墓である。...

村民に作品発表の機会と鑑賞の場を提供するとともに、生活文化のさらなる充実発展とむら興しに寄与することを目的とした「第9回今帰仁村文化祭」が11月2日(土)、3日(日)の2日間、村中央公民館、コミュニティセンターで行われます。



—ちゆくてみしらな 我した今帰仁文化むら—をテーマに 第9回今帰仁村文化祭開催

日時 11月2日(土)・3日(日) 場所 村中央公民館・村コミュニティセンター

- 部門
① 舞台発表部門
● 児童生徒向け
● 各字芸能(ミャクニー含む)
● 演劇「トートーメー万歳」(沖縄実験劇場)
② 展示部門
絵画彫刻、写真、書道、陶芸、染色、民芸、盆栽、生花農産加工品、手作り料理、給食展、木工、各字旗がしら今昔写真展、村出身作家の著書、その他
③ 手作り玩具コーナー
竹とんぼ、水でっぽう、かざぐるま、虫かご、人形、その他

# 渡喜仁の伊是名家 (明治四十四年頃)

この写真は、写真を所蔵されている照屋昇さん、照屋ナエさん(旧姓伊是名)の実家での渡喜の記念写真である。撮影場所は、渡喜仁の照屋全さん宅(以前は伊是名興元さん宅)だとみられる。

- 後列右から
- 伊是名興成(興元の三男)
- 興元(タンメー)
- 興仁(興元の長男)
- ウト(興元の次女)

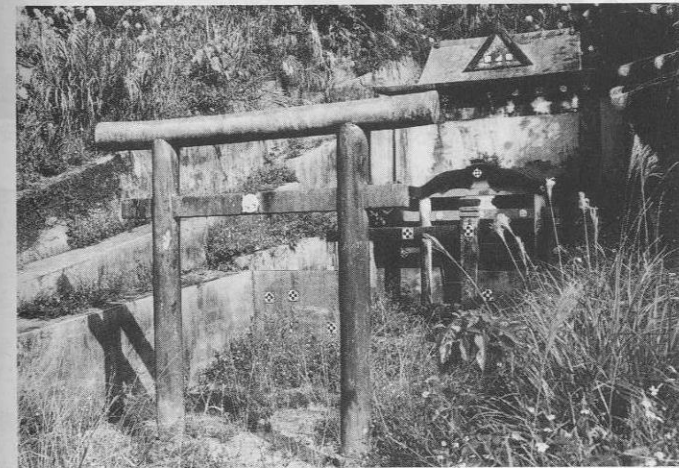
- 前列右から
- 伊是名ナエ(現照屋ナエ)(興仁の長女)
- マカト(興元長女)
- カミ(興仁の妻)
- 興堅(二、三歳頃)(興仁の次男)
- カミ(興元の妻)
- カナ(興成の妻)
- 興保(四、五歳頃)(興仁の長男)



渡喜(ペルー)の記念写真(明治44年頃)

が伊是名家の世帯主の伊是名興元さんである。前列の女性と子供たち、後列に男性たちが並んでの記念写真である。服装からすると、季節は冬なのでしよう。この場面は、伊是名興仁さんとその妻カナさんが南米(ペルー)移民のために撮った記念写真である。当時、このような写真撮影

ができる家というものは、今帰仁村でそう多いものではなかった。写真屋にお願いして撮影できたということは、相当なウエーキ(富豪)であったのであろう。伊是名家は、多くの土地を持ちシカマを何人か使っていた。また、舟(サバニ)を持ち二、三人に持たせ漁をさせていたともいう。



渡喜仁にある伊是名家の墓(1990年撮影)

伊是名興元さんは伊是名のタンメーと呼ばれ、馬を飼って天底馬場や仲原馬場で競馬が行われると出場させ、当時の競馬ファンにはよく知られていた馬主であった。馬に乗るのは伊是名のタンメーではなく、長男の興仁さんであったという。屋敷に池があり、月見台を設けるなど風流な人であった。

十年生(当時四、五歳)で、彼だけがゲタを履いている。服装は、伊是名家の精一杯の晴れ着姿であり、当時の社会の一面をみる思いがする。下の写真は、伊是名家と呼ばれ渡喜仁の立石原にある。鳥居があり、大きな一風変わった墓である。伊是名興元さんが造ったという。八十年前の一枚の写真に、伊是名家の十一名が写っている。健在な方は、今では八十九歳になるナエさんと八十五歳の興保さんの二人だけである。興元さんは戦争中、名護市の我部祖河で収容中に亡くなり、移民をした興仁さんと妻のカミさんは南米で。また、興堅さんは七、八年前ブラジルで亡くなったという。南米行きの記念写真を手掛かりに、一人ひとりの人生がどのようなものであったのかわかるか、聞き書きをしてみたい気持ちにかられる。八十年前、現在をどのように予測していたのであろうか。あるいは、家族とは何なんだろうかなど。一枚の写真から八十年の歴史をふり返ると様々な思いが脳裏をかすめていく。

仲原 弘哲  
(歴史資料館準備室)

## 保育所に人形劇がやってきた テビクはサンボか〜わい



六月に今帰仁保育所で保育実習を行った田港裕子さん(天底出身)が、ご恩返しにと、沖縄キリスト教短期大学児童文化研究サークルの仲間十二名と人形劇公演で今帰仁保育所をお訪れた。(写真上)

て劇に見入った。アンパンマンやチビクロサンボが、ところ狭しと動きまわると、声を張り上げ声援を贈っていた。真剣な眼差しで見ている我那覇大樹くんと大城龍太くんは「チビクロサンボのいちばんはじめにできたトラがよかった」と嬉しそうに話した。公演を終え、人形劇を企画した田港さんは「北部での公演は初めてで、みんな多少緊張しましたが、子どもたちの喜んでる顔を見て、気持ちほぐれ、いつものようになりました」と語り、子どもたちの笑顔に送られて次の公演の本部町へと向かった。

### タックスコーナー

## 税について 考えてみませんか

No.15

**今** 回は、特別土地保有税についてお知らせいたします。特別土地保有税とは、昭和四十七年四月一日以降の土地の取得に対し、その土地の所有者、取得者に課税されるものです。課税されるのは、土地の保有、取得が一万平方メートル以上の場合です。

**最** 近五年間の特別土地保有税は別表のとおりです。

| 村の年度別特別土地保有税 |          |
|--------------|----------|
| 平成2年度        | 21,174千円 |
| 平成元年度        | 26,679千円 |
| 昭和63年度       | 24,423千円 |
| 昭和62年度       | 8,828千円  |
| 昭和61年度       | 21,670千円 |

**特** 別土地保有税の納税義務者は、それぞれ次に掲げる日までに、申告書を提出し期限内にその税額を納めて下さい。

**最** 近五年間の特別土地保有税は別表のとおりです。

## 社会生活基本調査にご協力をお願いします

総務庁統計局と沖縄県では10月1日現在で第4回目の社会生活基本調査を実施しています。この調査は国民の生活時間の配分、自由時間活動の実態を種々の側面からとらえ、国民生活の総合的な福祉の向上を図るために必要な諸施策立案の基礎資料を提供するものです。

この調査の調査員が、調査世帯をお訪ねしますので、よろしくご協力をお願いします。お問い合わせは、役場企画財政課統計担当係まで。

☎56-2101(内線27)



10月1日

社会生活基本調査

西暦二〇〇一年の今帰仁像をえがく  
“基本構想”の見なおし作業はじまる  
村民一人ひとりの英知で新しい時代の今帰仁づくりにご協力を!

**特** 別土地保有税の納税義務者は、それぞれ次に掲げる日までに、申告書を提出し期限内にその税額を納めて下さい。

むらづくりは、ふるまいたの節から

税

私たちの体は、日々変化しています。体の骨だって、毎日、少しずつ作り変えられているのです。その材料が「カルシウム」です。私たちの体には、毎日、六百ミリグラムのカルシウムが必要なのです。一日八十三ミリグラム不足しているそうです。カルシウム不足が何十年も続くと作り変えられるはずの骨がカルシウム不足で弱くなってしまいます。これが「骨粗鬆症」とよばれるものです。このカルシウム不足の他に運動不足やお酒・タバコ・コーヒーのとり過ぎは骨の吸収をさまたげていることも知られています。この骨粗鬆症を予防するに



保健婦室だより

骨粗鬆症ってどんな病気？

は、三つのことがあげられます。

- ①カルシウムを充分にとる。
- ②運動をする。(歩く等、自分にあつた運動をする)
- ③タバコ・お酒・コーヒーをひかえる。

カルシウムは、食事によって腸からの吸収が違います。吸収率は、乳製品、牛乳、魚、野菜の順に良く、牛乳一本(小パック)には、二百ミリグラムのカルシウムが含まれて体の中にとりこまれるのは、百ミリグラムです。特に閉経後の女性は、一日二本をお勧めします。コレステロール、肥満の気になる方は、脱脂粉乳(スキムミルク)をお勧めします。カルシウムの一日の摂取量が千ミリグラムをこえても余分なものは、尿や便となって排泄されます。

すでに軽い骨粗鬆症にかかっている人も毎日、カルシウムを充分にとることで回復します。バランスのとれた栄養豊富なカルシウム摂取、軽い運動で、体と心の健康をつくりましょう。

カルシウムはこんな食品に多く含まれています

骨をじょうぶに・カルシウムをとろう

| 食品名       | 1回に食べる量        | その目安量 | そのカルシウム量 |         |
|-----------|----------------|-------|----------|---------|
| 牛乳<br>乳製品 | 普通牛乳           | 200g  | 1本       | 200(mg) |
|           | ヨーグルト(全脂無糖)    | 100   | 1/5カップ   | 110     |
|           | スキムミルク(国産)     | 20    | 大さじ2 1/2 | 220     |
|           | アイスクリーム(普通脂肪)  | 100   | 1個       | 140     |
|           | チーズ(プロセス)      | 25    | 1切れ      | 150     |
| 小魚        | 丸干し(まいわし)      | 15    | 中1尾      | 210     |
|           | みりん干し(かたくちいわし) | 17    | 1枚       | 136     |
|           | 煮ぼし            | 10    | 5尾       | 220     |
|           | しらす干し          | 15    | 大さじ3強    | 80      |
|           | いわし油漬缶詰        | 55    | 1/2缶     | 220     |
|           | 干しえび           | 10    | 1/5袋     | 230     |
|           | ししゃも           | 50    | 中2尾      | 95      |
| 大豆・豆製品    | わかさぎ(生)        | 50    | 小7尾      | 375     |
|           | きびなご(生)        | 50    | 10尾      | 150     |
|           | 沖縄豆腐           | 100   | 1/8丁     | 120     |
| 海草・乾物類    | 生揚げ            | 120   | 1枚       | 288     |
|           | 油揚げ            | 25    | 1枚       | 75      |
|           | おから            | 65    | 1/2カップ   | 65      |
|           | 凍りとうふ          | 20    | 小1個      | 118     |
|           | なつとう           | 50    | 1/2包     | 45      |
| 海藻・乾物類    | こんぶ(利尻こんぶ)     | 10    | 10cm角    | 76      |
|           | ひじき(乾燥)        | 10    | 1/5カップ   | 140     |
|           | わかめ(乾燥)        | 5     | 1/4カップ   | 48      |
|           | 切り干しだいこん       | 10    | 1/5カップ   | 47      |
|           | あおさ            | 5     | 1/4カップ   | 48      |

カルシウムが不足だったんだネー骨がおれるさア



モレ者検診のお知らせ

★10月27日(日)住民検診  
受付：9:00~11:00迄  
場所：コミュニティセンター

★10月29日(火)婦人ガン検診  
受付：12:30~1:30迄  
場所：コミュニティセンター  
☆受け忘れのありませんよう、隣近所一声かけあいましょう。

問い合わせ：厚生課  
☎56-2101(内線39-40)  
定期健診は成人病予防の第一歩

エイサー沖永良部に舞う村青年会が観光まつりに特別出演



▲熱狂的な歓迎を受けたエイサー。来年もぜひ出演をとの声が多く寄せられた。

鹿児島県知名町青年会と今帰仁村青年会は、沖永良部の世の主今帰仁王と、怕尼芝の次男といわれる)のルーツを訪ねる「沖縄史跡めぐり研修」や「フリージアマラソン大会」参加などを通し活発な交流を続けている。沖永良部最大のまつり「知名町観光まつり」に今帰仁の青年が招かれ、エイサー出演が実現した。九月五日には、知名町の青年九名がエイサーのお礼にと今帰仁にみえ、四十五名の青年と上間博安村長が出席し、なごやかな交流が行なわれた。初めての県外公演を金城寛樹さん(村青年団協議会企画部長)にレポートいただきました。



▲上間村長、西島教育長と笑顔でハイポーズの知名町青年会と今帰仁村青年会の皆さん(役場前)

今帰仁村青年団協議会の一行三十六人が、八月二・三日の両日行なわれた鹿児島県沖永良部島の「知名町観光まつり」に招待を受け、湧川エイサーを披露した。観光まつりで今帰仁のエイサーを演じてほしいと熱烈なラブコールが、青年会にあり参加するのであれば、勇壮な太鼓を叩く湧川エイサーがいいということになった。さっそく、湧川青年会にお願いしたところ今帰仁村の代表というより、沖縄の代表という気持ちで行こうじゃないかと、快く引き受けられた。

いよいよ出発の日、役場前で上間村長始め、多くの方々から激励を受け、本部港から沖永良部へとゴールデンおきなわは出港した。港に着くと知名町のほうでは、大々的にビールールされておき、町民が全員会場に詰めかけたと思うほどの人出であった。

夕方からエイサーを先頭に「観光まつり」のパレードが始まった。途中、繁華街の間ほどで一回目の披露となる。知名町の人々は、初めて見るエイサーに一曲、一曲終るたびに拍手喝采であった。ひと通り繁華街をパレードしてから本番のエイサー

会場にむかう。会場に着くと開演までの時間があったいなと、ジフテー(三味線弾き)の四人による民謡大会となった。地元のおじやオバーたちは、生の演奏ということもあって、ここでも拍手の渦であった。そんな盛り上がりでピークに達したところ本番のエイサーとなり、一段と観客が増え黒山の人だかりである。一曲、一曲終わるたびに大きな拍手となる。エイサーが終わっても拍手がやまず、司会の「アンコール」の一言で会場全員が一斉に「アンコール」の大合唱となった。期待にこたえて、すぐ三回目の披露となった。最後にはカチヤーシーとなり、地元の方々の飛び入りもあって会場は、大いに盛り上がった。その後、知名町青年会との交流会があり、夜遅くまで、なごやかな雰囲気でお話も弾んだ。

翌日は、今帰仁王の次男にあたる沖永良部島の王のお墓など見学。帰りの波之上丸では、交流の感想を話し合う懇談会となり、思い思いの感想を述べていた。ひとそれぞれ青春の一ページを飾る意義あるイベントとなったことでしょう。

# 10月/神無月

## 村民カレンダー

1991年



|               |  |               |  |
|---------------|--|---------------|--|
| <b>10/1</b> 火 | ○住民検診(9:00~11:00呉我山公民館)<br>(13:30~15:30玉城公民館)<br>○社会生活基本調査開始   | <b>17</b> 木   | ○1歳6カ月児健診(13:00~14:00受付コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)                            |
| <b>2</b> 水    | ○住民検診(9:00~15:30湧川公民館)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)                          | <b>18</b> 金   | ○第7回やんばんの産業まつり(18~20日名護市民会館)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン) |
| <b>3</b> 木    | ○住民検診(9:00~11:00勢理客公民館)<br>13:30~15:30天底公民館)   | <b>19</b> 土   | ○仲宗根保育所運動会(9:30~13:30)<br>○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)                                   |
| <b>4</b> 金    | ○住民検診(9:00~11:00上連天公民館)<br>(13:30~15:30連天公民館)<br>○第15回北部地区畜産共進会(9:00~家畜せり市場)                           | <b>20</b> 日   | ○第17回老人婦人スポーツ大会<br>(9:00~村営グラウンド)  |
| <b>5</b> 土    | ○第46回今帰仁村陸上競技大会<br>(18:00~ハンマー投げ・サブグラウンド)<br>○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)                                  | <b>21</b> 月   | ○3歳児健診(13:00~14:00受付コミセン)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)    |
| <b>6</b> 日    | ○第46回今帰仁村陸上競技大会<br>(9:30開会式・村営グラウンド)   | <b>22</b> 火   | ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)                             |
| <b>7</b> 月    | ○住民検診(9:00~11:00古宇利公民館)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)                        | <b>23</b> 水   | ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)<br>○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)     |
| <b>8</b> 火    | ○住民検診(9:00~11:00渡喜仁公民館)<br>13:30~15:00コミセン)<br>○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)                             | <b>24</b> 木   | ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)  |
| <b>9</b> 水    | ○住民検診(9:00~15:30仲宗根公民館)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)                         | <b>25</b> 金   | ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)                                 |
| <b>10</b> 木   | ○体育の日<br>○子豚せり市(13:00~家畜せり市場)  | <b>26</b> 土   | ○役場閉庁<br>○子豚せり市(13:00~家畜せり市場)<br>○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)                            |
| <b>11</b> 金   | ○デイケア合同運動会(21世紀の森公園)<br>○DPT予防接種(13:00~14:00コミセン)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)                           | <b>27</b> 日   | ○もれ者住民検診(9:00~11:00コミセン)<br>○国頭郡陸上競技大会(8:30~名護市菅陸上競技場)<br>○中央保育所運動会(9:30~13:30)      |
| <b>12</b> 土   | ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)<br>○役場閉庁  | <b>28</b> 月   | ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)                                 |
| <b>13</b> 日   | ○今帰仁保育所・仲尾次保育所運動会<br>(9:30~13:30)  | <b>29</b> 火   | ○もれ者婦人ガン検診<br>(12:30~13:30受付コミセン)<br>○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)                     |
| <b>14</b> 月   | ○デイサービス(10:00~17:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)  | <b>30</b> 水   | ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)<br>○デイサービス(9:00~17:00コミセン)<br>○リハビリ(13:30~15:30コミセン)        |
| <b>15</b> 火   | ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)<br>○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)   | <b>31</b> 木   | ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)  |
| <b>16</b> 水   | ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)<br>○リハビリ(13:30~15:30コミセン)<br>○牛のせり市(11:00~家畜せり市場)<br>○デイサービス(10:00~17:00コミセン) | <b>11/1</b> 金 | ○教育文化週間  |

猛威をふるった台風十七号の余波が残る九月十四日午後四時すぎ、二人の男がスキューバダイビングに長浜を出発。同じ時刻、玉城清正は自宅近くの今泊の浜へ散歩でかけた。玉城は護岸に座り、海を見つめていた。間もなく、白い波の砕け散るリーフに何か物体が揺れ動くのを発見。いやな予感が脳裏をかすめた。急ぎ足で友人の金城則政宅に駆け込んだ。隣の新城悟に双眼鏡を借り三人で浜に。沖を見る。とボートが、木の葉のように揺れている。一分もたたずに沈没。大城は大急ぎで一九番通報。消防署で通報の任についていた嘉数照光は、電光石火、救助隊を編成。漁船とゴムボートに乗り込んだ救助隊が現場に直行。高波の中、第二次遭難が心配された。浜には大勢の人がかたずを飲み、ことの行方を見守った。

午後六時四十六分、漁船から興奮した声で「救助」の報が。歓声と拍手が強い風をささげり、浜辺にこだました。

二人の名は、WALLERとLAYHER。乗っていたYANK号はまだ見つかったかない。(文中敬称略)

